

第4回 ふくしまME(防災)コース カリキュラム

令和4年8月22日現在

	1週:10/20(木) ＜福島県農業総合センター＞	2週:10/27(木) ＜やないづふれあい館＞	3週:11/1(火) ＜福島県農業総合センター＞	4週:11/17(木) ＜福島県農業総合センター＞	5週:11/24(木) ＜福島県農業総合センター＞	6週:12/3(土) ＜福島県農業総合センター＞
1時限	(9:30-9:40) 共通-1. ME研修の意義、実施要項説明 担当:福島県、事務局	(9:30-9:40) 共通-2. 福島県の社会基盤施設の維持管理の現状 担当:福島県	(9:20-11:20) <*1回10分休憩> 防災-6. 盛土安定診断と安定度評価 担当:仙頭紀明教授(日本大学工学部)	(9:20-10:40) 防災-8. 斜面安定診断と安定度評価 担当:中村晋上席研究員(日本大学工学部)	(9:20-11:20) 防災-14. ロック/スノーシェッドの点検、診断対策 担当:八巻誠一(日本技術士会東北本部 福島県支部)	(9:30-12:30) 認定試験(筆記試験)
	(10:40-11:30) 【特別講話】 共通-3. 災害と防災気象情報の利活用 担当:福島地方気象台	(10:00-12:00) (12:40-15:30) ＜実地演習1＞ 斜面安定・落石、シェッド、トンネルの点検、診断に関する現地実習(主要地方道 柳津昭和線) 担当: 中村晋上席研究員 仙頭紀明教授 (日本大学工学部) 日本技術士会東北本部福島県支部 外	(11:30-12:50) 防災-7. 盛土点検計画と安定工 担当:増子裕一(日本技術士会東北本部 福島県支部)	(10:50-12:10) 防災-11. 落石診断と安定度評価 担当:中村晋上席研究員(日本大学工学部)	(11:30-12:50) 防災-15. トンネルの構造、点検体系、定期点検 担当:尾崎裕司(建設コンサルタンツ協会 東北支部)	(13:30-17:00) 認定試験(口頭試験) 担当:各講師
2時限	(11:40-12:40) 防災-4. 福島県の地形・地質および工学的課題 担当:渡部貴史(福島県地質調査業協会)	(13:30-14:30) 防災-4. 福島県の地形・地質および工学的課題 担当:小澤義史(福島県地質調査業協会)	(13:40-15:00) 防災-9. 斜面安定施設の点検計画、診断 担当:畠良一(日本技術士会東北本部 福島県支部)	(13:00-14:20) 防災-12. 落石予防工・落石防護工 担当:小沼千香四(日本技術士会東北本部 福島県支部)	(13:40-15:00) 防災-16. トンネルの調査 担当:鶴原敬久(建設コンサルタンツ協会 東北支部)	
	●地形/地質区分から想定される災害の危険因子	●福島県内での災害事例からの福島県の地形・地質的特徴 工学的課題について資料調査、現地調査および室内試験等による問題点評価手法	●安定性評価のための調査手法 対策工を行うまでの監視(モニタリング)方法 安定工の目的と種類 盛土点検計画と健全度評価のポイント	●落石の発生源の理解 調査票に基づく安定度の判定の考え方 落石の運動機構として転動、落下などに関する力学挙動の基本 落石防護施設設計の基本的な考え方	●点検トンネル構造の種類 構造特有の変状の特徴 点検時の留意点 点検体系 定期点検の考え方・方法	
3時限	(14:40-16:20) 防災-5. 環境作用によるコンクリート・鋼構造物の劣化 担当:子田康弘教授(日本大学工学部) 笠野英行准教授(日本大学工学部)	(15:30-16:00) 移動等 (16:00-18:00) 意見交流会	(15:10-16:10) 防災-10. 斜面安定施設の対策工 担当:畠良一(日本技術士会東北本部 福島県支部)	(14:30-16:30) <*1回10分休憩> 防災-13. ロック/スノーシェッドの概説 担当:長尾晃(日本技術士会東北本部 福島県支部)	(15:10-16:30) 防災-17. トンネルの対策工 担当:鶴原敬久(建設コンサルタンツ協会 東北支部)	
	●シェッドおよびトンネル覆いにおける環境作用と劣化 コンクリート構造物・鋼構造物に発生する劣化の特徴		●代表的な斜面(のり面)安定対策工(抑制工、地下水排除工等、抑止工、グラウトアンカー工等)の施工事例	●導入時期による劣化機構の相違 構造形式による劣化機構の相違 設計・施工による劣化機構の相違	●詳細調査実施が必要な変状の特徴 定期点検の着目点 詳細点検の実施	●対策工設計の考え方 具体事例 適切な定期点検の実施に向けた留意事項